

2025年4月2日
株式会社SVPジャパン

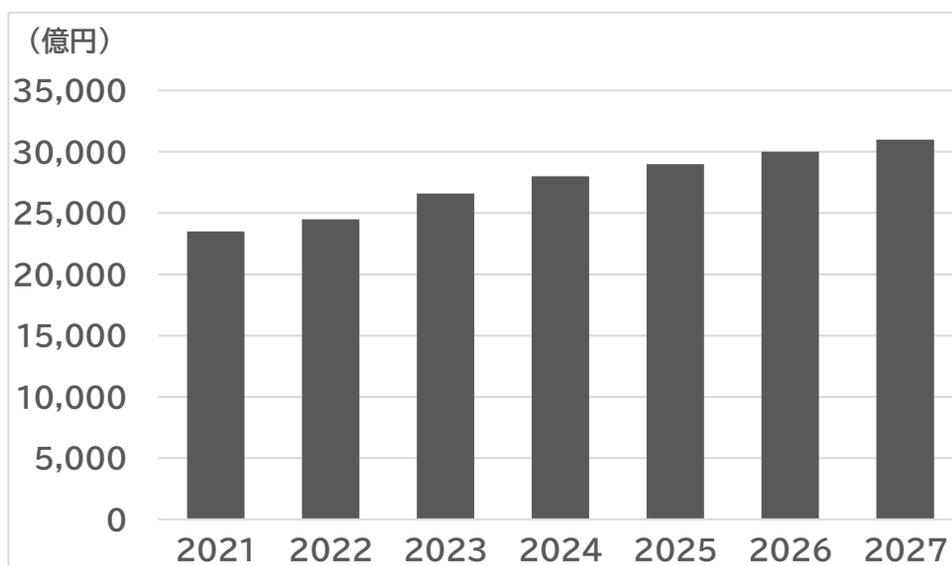
SVP注目市場分析 「ファストファッション」を公開

～世代や性別を超えて広がるファストファッション需要～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「ファストファッション-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ファストファッションの国内市場



日本のファストファッション市場は、2000年代末のH&MやFOREVER 21といった海外ブランドの進出を契機に急拡大し、以降、ユニクロやGUなどの国内ブランドの成長が市場を牽引してきた。これら国内ブランドは、機能性や品質を重視したベーシックな商品構成を展開することで、若年層のみならず幅広い年齢層に支持を広げている。

2024年時点での市場規模は約2.8兆円と推定され、カテゴリー別にはレディースが約6割を占め、続いてメンズ、子供服と続く。今後も年間3～4%の成長が見込まれ、2027年には3兆円を突破する可能性がある。ファストファッション企業は、SPA（製造小売業）モデルを採用し、企画から販売までを一貫して行う企業が多く、実店舗とECの両軸でチャネル展開を進めている点も市場拡大を支える要因である。郊外立地への進出や店舗の多機能化も見られ、今後はリアルとデジタルの融合による新たな販売体験の提供が競争力の鍵となるだろう。

ファストファッションの市場概況

ファストファッションは、トレンド性の高い商品を短サイクルで低価格に提供するビジネスモデルによって、若年層を中心に世界的に広がってきた。日本においても、当初は若者の間で人気を集めていたが、国内ブランドが実用性や品質を重視した商品を展開したことで、幅広い層に定着した。一方、2019年のFOREVER 21の撤退やコロナ禍による消費の低迷などにより、市場は一時的に停滞したものの、近年はファーストリテイリングやしまむらの復調、中国発のSHEINの台頭などを背景に再び活性化している。SNSやインフルエンサーを活用したマーケティングはZ世代を中心に影響力を強めており、情報発信のスピードとデジタル対応力が市場拡大の重要な要素となっている。また、環境負荷や労働環境といった社会的課題への対応も求められており、企業にとっては持続可能な素材の採用やサプライチェーンの透明性確保が不可欠な戦略となりつつある。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

5月のテーマは「スポットワーク」と「スキルシェアサービス」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com